



全 PSI 加盟組合宛コミュニケ -2017 年 4 月 25 日

国際公務労連執行委員会 EB-150
2017 年 4 月 20-21 日、ジュネーブ

各位

PSI 執行委員会 EB-150 は 4 月 20-21 日に会合して、前回の会合以降の経過を評価し、2017 年 10 月 30 日から 11 月 3 日までジュネーブで開催される PSI 世界大会の準備を行った。困難な政治情勢の下でのグローバルな活動と地域活動について包括的な報告を受けた、そして新規に加盟した 28 組合を歓迎した。

会合では、米国のドナルド・トランプの行動、クーデター未遂以降のトルコにおける公共部門労働者の大量解雇、欧州における英国の EU 離脱、およびブラジルやベネズエラ及びアルゼンチン情勢など、世界中の政治動向について強い懸念が表明された。ブラジルにおける労働改革と社会保障改革および公共サービスの外注化に抗議する 4 月 28 日のゼネストを支持する緊急決議が採択された (<http://ow.ly/UaiV30bbQ4y>)。

EB-150 は、増大する不平等、失業、脱税、秘密主義の貿易協定及び公共サービスの解体に対する人々の怒りとフラストレーションを悪用する右翼的ポピュリズムの傾向に対する懸念を表明した。

EB は励みになるさまざまな動きに留意した。もっとも顕著だったのは、平等と女性に対する暴力の根絶を訴えて世界中で 3 月 8 日に女性の運動が展開されたこと、韓国で街頭抗議行動と労働者の動員が腐敗した大統領の弾劾に寄与したこと、オランダで右翼ポピュリスト政党が敗北したこと、メキシコとインドで母性の権利獲得において大きく勝利したこと、そしてインドネシアの裁判所の判決で同国における電力民営化を違憲とされたことなどである。EB は、自己利益以外の利益を追求しない反民主的・反組合的な保守的資本主義勢力に対抗するために、労働組合が市民社会と共に組織する集会やデモ、ストライキの形でグローバルな抵抗が増大していることに留意した。

EB-150 は、2017 年の PSI 世界大会は、公共部門組合が再編する、そしてより良い世界を創出するために必要な力を構築し続けるために重要な機会になることに留意した。その後執行委員会は、

- 「利益よりも人々を優先」と題する行動プログラム(PoA) を加盟組合に配布することを確認した。
- 組織を強化し、内部民主主義を向上させる規約改正案を大会での討論に付すことを確認した。
- 大会に向けて加盟組合から 50 本の決議案を受け取った、これは大会の討論と意思決定への加盟組合の参加と関与を非常によく示していることに留意した。;
- 大会議事日程案に関して、進行中の作業も含めて、議事運営委員会(SOC) 会合からの報告に留意した。

- 英語で（いずれスペイン語とフランス語でも）アップされ、運営されている、そして現在個人のオンライン登録が可能になった大会ホームページについて検討した: <http://congress.world-psi.org>。

EB-150 は、普遍的な公的保健医療(UPHC)を実現するためにグローバルな運動を創ることを目的として 2016 年に発足した「すべての人に健康を」キャンペーン (<http://www.world-psi.org/en/right-health-campaign-better-future-publichealth4all>) に関する近況報告を受けた。このキャンペーンは、労働組合権、民営化との闘い及び税の公正を組み込み、他のグローバル労連や PSI に加盟していない組合、労組ナショナルセンター、市民社会の仲間たちと連携して、次のことを目指す:

- 保健サービスに充てる**資金の増加**を求める PSI 加盟組合のキャンペーン力を高める
- 国家の役割として人権の概念に保健医療への普遍的アクセスを含めることを力説する;
- ヘルスケアに商業化に反対するコンセンサスを市民の間に築く
- 普遍的な公的ヘルスケアに関するリサーチの根拠となる証拠資料の集成を拡大する。
- **SDG (持続可能な開発目標) 3.8 (普遍的な保健医療)**の実施と保健分野の雇用と経済成長に関する国連ハイレベル委員会(ComHEEG)の報告に基づく行動計画の実施を加速化するために、グローバル統治に対する PSI の影響力を強化する。

EB-150 は、ILO 総会(<http://www.ilo.org/ilc/ILCSessions/106/>)に向けた準備について議論し、次のことに留意した:

- 不法解雇されたリベリアの仲間たちへの連帯を求めた PSI EB-149 の要請に対する反応は良かったが、この件はまだ解決されてない
- PSI は ILO 基準適用委員会(CAS)に提出される労働組合権侵害のケースを加盟組合と共に訴える—アルジェリア、ボツワナ、ブラジル、コロンビア、エクアドル、エジプト、グアテマラ、カザフスタン、フィリピン、トルコ
- ILO でのストライキ権問題は、監視システムを改定中だとしても、未解決なままである
- PSI は、合同作業を調整するために、ILO 総会にどの加盟組合が出席するかを知るための回状をまもなく送付する。

EB-150 は、ガザのパレスチナ保健労組からの要請に応じて、6500 人のパレスチナ人拘留者（300 人の子供を含む）に対する**連帯声明**を承認した。彼らは 4 月 14 日のパレスチナ囚人の日にハンガーストライキを行い、今も継続中である (<http://ow.ly/Nmh830bbQfi>)。

EB はまた、2016 年の PSI の均衡財政報告と 2017 年の改訂予算案を承認した。新たに就任した 2 人の副会長メット・ノード (Fagforbundet、ノルウェー) とトーマス・カトニグ (younion、オーストリア) を歓迎し、2 名の大会選挙管理委員としてルナ・バランタイン (PSAC、カナダ) と石原富雄 (国公連合、日本) を指名した。

議事録は PSI ホームページ上でできるだけ早く全 PSI 加盟組合が閲覧できるようにする。

次回の執行委員会 EB-151 は 10 月 30 日の午後に開催される。これに先立って、7 月 19–20 日と 10 月 29 日午後に議事運営委員会、10 月 30 日午前に女性委員会が開催される。

ローザ・パヴァネリ
PSI 書記長